

三木市卓球協会

〔設立年度〕昭和29年7月1日

〔事務局〕三木市府内町12-11 山本卓弥方

〔加盟会員数〕(市内愛好者数) 約500名

〔現役員〕会 長 塩谷 英雄 (第4代 2017(H29)年4月就任)

副 会 長 佐野 宜規

事 務 局 山本 卓弥 岩崎 陽介

顧 問 宮本 敦子 武庫富美子 岩崎 誠

理 事 岡田 茂美 氏田 俊子 吉永 紀子

上田 和弘 小阪 啓子 田中 勝彦

城田 瑞恵 小西 里枝 明空 美希

生田 善央 北井 健太 永本 龍也

〔名誉会長〕故 人 中嶋 将雄 第3代会長(2017(H29)年8月逝去)

●現在の活動状況(この10年間)

1954(昭和29)年7月1日三木市制施行の後に結成された体育協会に併せて誕生した三木市卓球協会は市制、体育協会と同じ年月を歩み、2004(H16)年に50周年、2014(H26)年で60周年、本2024(令和6)年70周年と歴史を刻み続けており感慨もひとしおです。

この10年で最大の出来事は、前会長の中嶋将雄氏のご逝去です。2017(H29)年3月に会長職を退任されました。そして4月に半世紀に渡る三木市卓球協会会長としてのリーダーシップ発揮と卓球競技普及発展への尽力に対する功績を称え感謝状を贈呈させて頂くと共に、今後は名誉会長として後輩たちを見守って頂く事としました。

しかし、この年の8月に中嶋名誉会長はご逝去され、残された私達は茫然としてしまいました。

その後、中嶋名誉会長の思いを継承していく為、協会運営・事業をさらに発展させる事を誓いました。

そんな中、同年10月14日にオープンした「三木山総合公園総合体育館」へ各大会の会場を移しました。

2020(R2)年3月から、2022(R4)年5月の3年間は新型コロナウイルス感染拡大で、大会などの活動は停止に追い込まれました。

2020、2021年度の大会は全て中止とし、2018年に新たに加東市が加盟した、東播八市親善卓球大会の

開催市の三木は2年間も持ち越しとなる事態となりました。2022(R4)年6月から再開したのは、市民大会と、みっきいリーグ戦でした。11月にやっと、東播八市親善卓球大会を開催できた時は安堵したものです。

次に、卓球協会の選手育成事業の一環で継続した取り組みである、三木卓球クラブジュニア(小学生)及び、三木卓球クラブジュニア中学部の2024年度の活動は、小学生が毎週日曜日の午後2時間を三木市立青山公民館で行い、累計で選手



249人、指導者137人（11月現在）、中学部は毎週土曜日午後3時間を三木市立福井コミュニティセンターで行い、累計で選手271人、指導者53人（11月現在）の参加となりました。

いずれも子ども達の技術向上と、努力することの大切さを伝えていこうと指導者は奮闘中です。

この10年の中、塩谷英雄が2017年に第4代会長に就任し、取り組んだ事の1つ目は、理事が安心して活動に取り組める環境作りとして、スポーツ安全保険加入(2021(R4)年度)の推進、次世代へ活動を繋ぐために若手理事登用を2019(R1)年度から取り組み、8名の理事を登用しました。

その中でも、2020(R2)年に就任した小西里枝理事は、理学療法士として2023年9月のパーキンソン病患者さん向け冊子に、「パーキンソン病の卓球療法」に取り組む姿勢を取り上げられるという活躍をされています。

また、2023年度には、当卓球協会規約を体育協会発足時の形だけのものから、スポーツ協会規約をお手本にし、時代に沿ったものに改定しました。

次に「みっきいリーグ」は、都市部に出なくても三木で試合が出来る!と1998(H10)年4月に立ち上げてから今年度で27年目を迎えました。

延べ参加人数は、2014年度末の15,692人から、2024年9月で24,676人を突破し、年間の参加平均人数は914人となりました。2年間のコロナ中止の影響で、10年前の1,100人から下がりましたが定着し、卓球愛好者の底辺拡大に貢献できた喜びと共に、小学生時代にリーグ戦に参戦した子ども達が、2024年度全日本卓球選手権で4名もランク入りし、日本リーグでも5人が活躍している状況は大きな成果の現れと大変嬉しく、望外の喜びとなりました。



●70周年を通じた活動の振り返り

70周年の歴史を振り返ると、協会発足時の小さな大会運営から1968(S43)年役員の実。

1977(S52)年、三木卓球クラブ発足。1980(S55)年から年4回の大会開催。1989(H1)年の三木卓球クラブジュニアの活動開始から小学生部門(バンビ、カブ、ホープス)の県大会、全国大会出場という成果を得ました。

1954(S29)年から東播地域で行う「東播七市親善卓球大会」においては、阪神淡路大震災があった1995(H7)年から1997(H9)年に掛け、三木市代表は3年連続優勝を成し遂げました。

1954(S29)年から2024(R6)年の67回開催の内、特に1995(H7)年からの三木市の入賞回数と入賞率は、一般優勝3回、準優勝11回(入賞率21%)。ベテラン優勝2回、準優勝9回(入賞率16%)となっており、親善大会ではあるが安定した戦績を残してきました。なお、本年2024年第67回大会では一般の部で準優勝を勝ち取りました。

なお、2018(H30)年に加東市が新たに加わり東播八市となりました。

1997(H9)年からは、みっきいレディースオープン、みっきいオープン大会を開催運営。1998(H10)年頃から役員手作りによる三木市卓球ジュニア選手強化練習会を行いました。1998(H10)年4月「みっきいリーグ」開始。そして、2000(H12)年4月10日「三木市卓球協会ホームページ」を兵庫県下卓球協会初、三木市体育協会内初として開設しました。



三木市卓球協会ホームページ

● 将来への展望

70周年を迎えての卓球協会の活動は、小中学生への指導による育成、定着してきた「みっきいリーグ」の継続等、生涯スポーツとして明るく楽しみたいという愛好者に対して「いつでも卓球にふれあえる」機会提供に努めてきました。

今後は、市立中学校部活動の地域クラブ展開に向けた動きが加速されていくと思われることから、卓球において当協会がどのように関われるかを考えていかなければなりません。

卓球愛好者だけにとどまらず、より多くの人たちが卓球とふれあえる機会をもっと増やす活動を継続していきたいと考えています。

また、卓球協会の運営自体に関しては、理事間の作業分担、DX化による大会等業務の効率化と省力化を図っていきたいと考えます。そうすることにより、若い世代への継承がスムーズに運べるものと考えています。

そして、より沢山の人が卓球を楽しめるよう、卓球の街「三木」を目指して取り組んでいきたいと考えています。

●●● 次世代への恩送り ●●●

初代会長 山本角治氏 (1954 (S29) 年)、第2代会長 衣川堯之氏 (1961 (S36) 年)、第3代会長 中嶋将雄氏 (1962 (S37) 年推定～2017 (H29) 年3月)の先人達の思いを受けて、第4代会長を受けた私には、何が出来るのかと自問した結果、卓球競技の普及と発展を次世代へ繋ぐ、受けた恩を返すのではなく、受けた恩を次へ送っていく事だと・・・。

蛇足、記念誌の執筆は、これで三度となりました。80周年記念誌は次世代で!との思いで、この度、卓球協会の沿革をまとめています。

文:塩谷英雄

●● 坂村真民 詩 二編 ●●

● つみかさね

一球一球のつみかさね 一打一打のつみかさね

一步一步のつみかさね 一坐一坐のつみかさね
一作一作のつみかさね 一念一念のつみかさね
つみかさねの上に咲く花 つみかさねの果てに
熟する実 それは美しく尊く 真の光を放つ

● 一本の道を

木や草と人間と どこがちがうだろうか
みんな同じなのだ いっしょうけんめいに
生きようとしているのを見ると ときにははかれ
らが人間よりも偉いとさえ思われる
かれらは時がくれば 花を咲かせ 実をみのらせ
自分を完成させる それにくらべ人間は 何一つ
しないで終わるものもある
木に学べ 草に習えと

～ 詩の言葉で 次世代へ送ります ～

★2024年のトピックス



卓球ジュニア選手強化練習会 2024.7.28 (日)



第38回三木市少年スポーツ大会 2024.11.17



第67回東播八市親善卓球大会 一般選手 2024.11.24 (日)



三木市スポーツ協会70周年記念第96回三木市民卓球大会 2024.6.9

三木市卓球協会の沿革【1954(S29)年～2024(R6)年】

西暦	年号	三木市卓球協会 (三木市スポーツ協会・スポーツ振興基金関連) トピックス(出来事)	スポーツ 協会 周年	東播親善卓球大会		
				回数	開催市	三木市の戦績とトピックス
2024	R6年	三木市スポーツ協会70周年 2024.10.14記念式典 講演：広澤克実 同70周年功労者表彰3名：氏田俊子(21年)、吉永紀子(21年)、上田和弘(19年) 三木市市政功労者表彰(教育文化功労)：塩谷英雄(市スポーツ協会推薦) 2024.7.7式典	70	67	加東市	一般準優勝
2023	R5年		69	66	小野市	ベテラン準優勝
2022	R4年	第65回東播八市親善卓球大会in三木 男女混合団体戦(一般・ベテラン)参加人数115名 来賓 三木市長 仲田一彦様、県会議員兼三木市スポーツ協会会長 村岡真夕子様、 三木市教育長 大北由美様 5月31日 三木市体育協会を三木市スポーツ協会に名称変更	68	65	三木市	
2021	R3年		67	延期	三木市	新型コロナウイルス拡大により延期
2020	R2年		66	延期	三木市	新型コロナウイルス拡大により延期
2019	R1年	三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)：岡田茂美	65	64	明石市	
2018	H30	山本卓球事務局長就任	64	63	加古川市	加東市加盟により東播八市となる
2017	H29	3月 第3代会長中嶋将雄様 会長退任(約56年) 4月 名誉会長(新設)就任 塩谷英雄 第4代会長就任 佐野宣規副会長就任 8月 中嶋将雄 第3代会長逝去85歳 10月14日三木山総合公園総合体育館オープン	63	62	高砂市	一般準優勝
2016	H28	公益財団法人三木市スポーツ振興基金30周年(H28.4月) 三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)：宮本敦子	62	61	加西市	一般、ベテラン共に準優勝
2015	H27	三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)：大田美奈 団体：三木中学校女子卓球部、自由が丘中学校女子卓球部	61	60	西脇市	ベテラン準優勝
2014	H26	三木市体育協会60周年 2014.10.13記念式典 台風にて中止 同60周年功労者表彰2名：佐野宣規(24年)、岡田茂美(15年) 三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)団体：三木中学校女子卓球部	60	59	小野市	一般準優勝
2013	H25	三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)団体：三木中学校女子卓球部	59	58	三木市	
2012	H24	公益財団法人三木市スポーツ振興基金(H24.4月公益財団に移行) 三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)：岡田茂美 団体：吉川中学校卓球部	58	57	明石市	一般準優勝、ベテラン優勝
2011	H23	三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)：宮本敦子	57	56	加古川市	一般、ベテラン共に準優勝
2010	H22	三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)：宮本敦子	56	55	高砂市	一般、ベテラン共に準優勝
2009	H21	中嶋将雄会長、塩谷英雄副会長、岩崎誠事務局長 三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)2名：明空美希、吉田有希	55	54	加西市	一般準優勝
2008	H20	塩谷英雄副会長・三木市体育協会理事就任、岩崎誠事務局長就任	54	53	西脇市	一般、ベテラン共に準優勝
2007	H19	中嶋将雄会長、澤田勝事務局長、(副会長空席) 三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)：吉岡理恵	53	52	小野市	一般準優勝
2006	H18	中嶋将雄会長、森田博則副会長、澤田勝事務局長 財団法人三木市スポーツ振興基金20周年(H18.4月)	52	51	三木市	一般準優勝、ベテラン優勝
2004	H16	三木市体育協会50周年 2004.10.11記念式典 講演：坂田信弘(坂田塾長) 同50周年功労者表彰2名：岩崎誠(25年)、塩谷英雄(16年)	50	49	加古川市	ベテラン準優勝
2003	H15	三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)：坂口あかり	49	48	高砂市	
2001	H13		47	46	西脇市	中学生の部準優勝
2000	H12	4月 三木市卓球協会ホームページを兵庫県下卓球協会初、三木市体育協会内初として開設 4月 みっきいリーグ開始	46	45	小野市	ベテラン準優勝
1998	H10	三木市卓球ジュニア選手強化練習会を新設(役員手作り)	44	43	明石市	
1997	H9	みっきいレディースオープン、みっきいオープン大会を新設	43	42	加古川市	三木市優勝V3
1996	H8	財団法人三木市スポーツ振興基金10周年(H8.4月)	42	41	高砂市	三木市優勝V2
1995	H7	1月17日：阪神淡路大震災	41	40	加西市	三木市優勝
1994	H6	三木市体育協会40周年 1994.10.10記念式典 講演：尾車親方 同40周年体育功労者表彰3名：森田博則、平上文洋、武庫富美子 三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)：岩崎陽介	40	39	西脇市	
1993	H5	三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)3名：岡室智行、岩崎陽介、武庫有子	39	38	小野市	
1992	H4	兵庫県体育協会功労者表彰：中嶋将雄 三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)2名：佐野宣規、藤枝進治郎 団体：三木東高卓球部女子	38	37	三木市	
1991	H3	三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)2名：岡田富美、山本卓弥 団体：三木東高卓球部女子	37	36	明石市	
1990	H2	三木市スポーツ賞奨励賞(卓球)2名：山本卓弥、川野勇人	36	35	加古川市	
1989	H1	三木市体育協会35周年 35周年体育功労者表彰3名：木下安男、宮本敦子、澤田勝 三木卓球クラブジュニア活動開始	25	34	高砂市	
1987	S62	財団法人三木市スポーツ振興基金発足(S62.4月) 初代理事就任：中嶋将雄 三木市スポーツ賞(1968(S43)制定)(卓球)：武庫有子	33	32	西脇市	
1984	S59	三木市体育協会30周年	30	29	明石市	
1979	S54	三木市制記念25周年大会功労者表彰：中嶋将雄	25	24	小野市	
1977	S52	三木卓球クラブ発足	23	22	明石市	
1974	S49	三木市体育協会20周年	20	19	加西市	
1967	S42		13	12	加西市	加西市加盟により東播七市となる
1964	S39	三木市体育協会10周年	10	9	三木市	
1962	S37	第3代会長 中嶋将雄 1962(S37)年推定～2017(H29)年3月	8	7	加古川市	
1961	S36	第2代会長 衣川堯之(三木市役所) 1961(S36)年推定～1962(S37)年推定	7	6	高砂市	
1956	S31		1	1	高砂市	東播六市親善卓球大会 第1回開催
1954	S29	1954(昭和29)年7月1日 三木市発足 同7月 三木市体育協会発足、三木市卓球協会発足 初代会長：山本角治(山本呉服店)	0	0	高砂市	東播六市親善卓球準備大会を 高砂市で開催